

産学公民の連携による  
臨海部の環境創造と産業活性化を目指して

# Kawasaki Coastal Area



NPO法人 産業・環境創造リエゾンセンター  
Liaison Center for Creation of Industry & Environment

## ■スマート・コンビナートを目指して

産業・環境創造リエゾンセンターは、川崎臨海部の立地企業を中心とする13社の有志等により平成16年8月に設立されました。当センターは、京浜臨海部を主なフィールドとし、産官学、市民との連携のプラットフォーム機能を発揮し、産業の活性化や環境・エネルギー問題の解決に貢献することを目指して活動を推進しています。

京浜臨海部は我が国の経済成長を牽引してきた有数の工業地域です。この地域には多くの環境に配慮したものづくり企業が集積しており、今世紀も引き続き、我が国の持続可能な発展を牽引する特別な地域です。環境と経済の好循環を推進するには、その時々状況に照らした最適解を検討し、実行し、

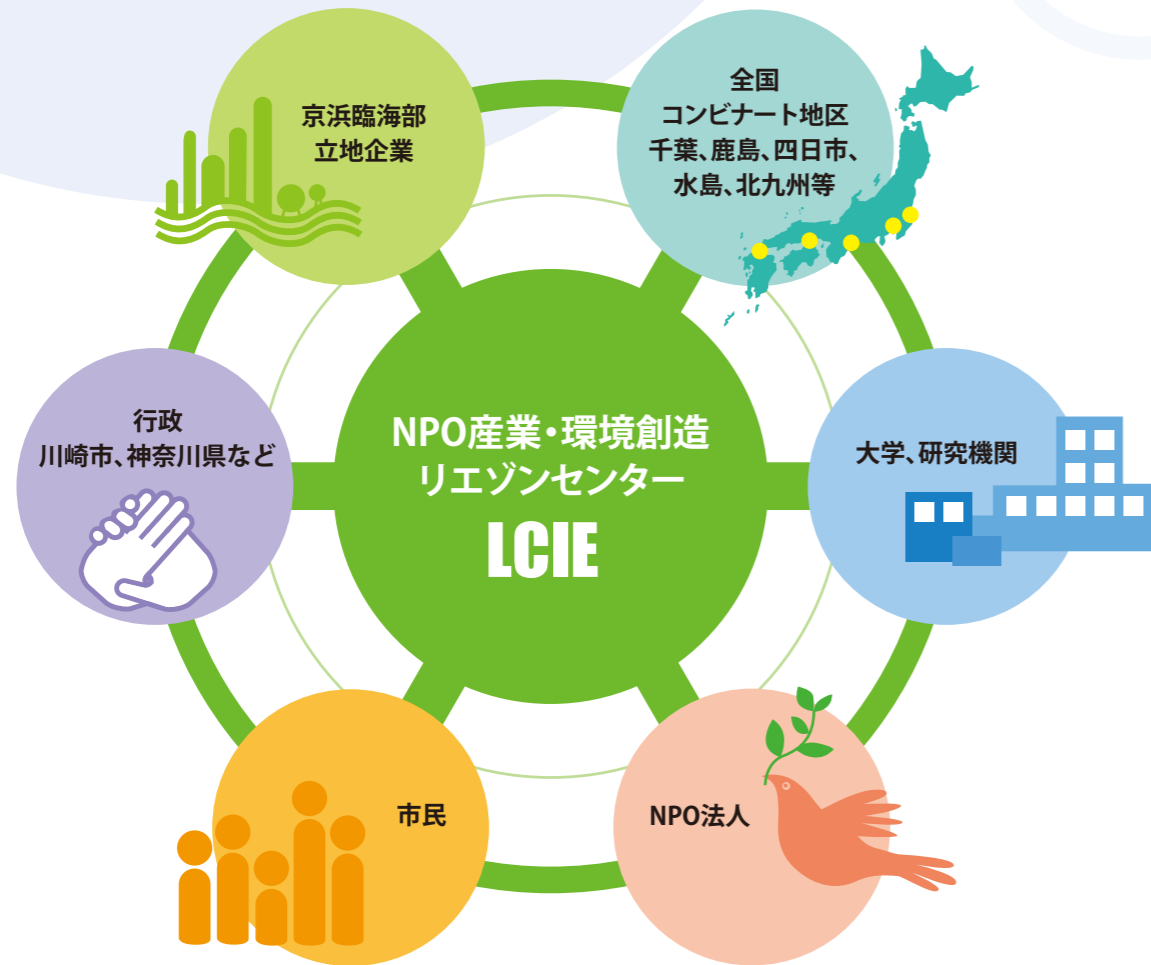
修正していくサイクルが重要です。それには、行政、企業、大学、そして市民が役割を分担し、連携した取り組みを実践することが不可欠です。

当センターはその名のとおりに、連携活動を通じ、産業と環境を創造することを目指しています。産業・環境創造リエゾンセンターが企業と行政ニーズとのマッチングの役割を果たし、スマート・コンビナートとして京浜臨海部が発展できるよう寄与できれば幸いです。企業が元気になる、環境がよくなる、その活動に市民がエールを送る、そして世界が注目する、そのような取り組みの実現に貢献したいと思います。

理事長 足立 芳寛

## ■リエゾンセンター\*の産学公民連携ネットワーク

\*リエゾン：連携を意味します。



- 川崎臨海部再生リエゾン推進協議会、川崎市との政策懇談会、定例情報交換会
- 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会
- 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議
- 川崎温暖化対策推進会議 (CC川崎エコ会議)、川崎メカニズム等活性化連絡会議
- 低CO<sub>2</sub>川崎ブランド等推進協議会、かわさきコンパクト、川崎臨海部防災協議会
- 京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議
- 臨海コンビナート親子見学会・市民見学会、環境・産業交流コーナー
- 臨海コンビナート都市連携シンポジウム など

## 産業と環境の好循環

## ■主な活動内容

### ●川崎市との連携による川崎臨海部スマート・コンビナート化

#### ①川崎エコタウンの深化

リサイクル事業を組み込んだ  
既存製造業による資源循環推進

川崎エコタウン  
多様な循環資源を原料としてリサイクル



#### ②地球温暖化防止への取組み

企業間連携にエネルギー有効活用  
メガソーラー発電事業の推進等

川崎スチームネット  
東京電力火力発電所から周辺工場(10社)への蒸気供給



蒸気供給量:62万トン/年  
CO<sub>2</sub>削減効果:約5.2万トン/年

#### ③エネルギー供給基地としての発展

地域エネルギー施策関連調査研究

川崎臨海部に立地する発電施設の総出力:約680万kW

主な発電施設	出力(万kW)
火力発電	
川崎火力発電所	342
東扇島火力発電所	200
川崎天然ガス発電所	84.7
昭和電工火力発電所	12.4
ジェネックス水江発電所	27.4
川崎クリーンパワー発電所	3.0
バイオマス・太陽光・風力発電等	
川崎バイオマス発電所	3.3
京浜バイオマス発電所	4.9
扇島太陽光発電所	1.3
浮島太陽光発電所	0.7
扇島風力発電所	0.2
クレハ環境廃棄物発電	0.5
浮島処理センター廃棄物発電	1.2



### ●企業と市民、他の臨海コンビナートとの交流活動

川崎臨海部立地企業の環境への取組みの「見える化」活動

- 臨海コンビナート親子見学会・市民見学会
- 臨海コンビナート都市連携シンポジウム等



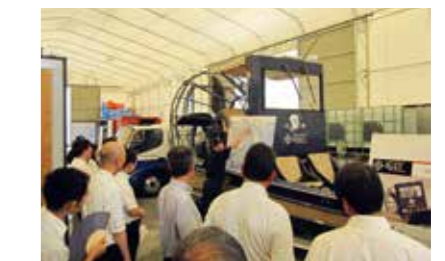
臨海コンビナート親子見学会



臨海コンビナート都市連携シンポジウム

### ●臨海部の地域環境向上

- 交通渋滞解消、臨海部クリーン化
- 臨海部のもりづくり構想
- 臨海部の防災・安全



首都圏臨海防災センター視察



## 会員 企業

旭化成株式会社  
株式会社クレハ環境  
JXTGエネルギー株式会社 川崎製油所  
JFEエンジニアリング株式会社  
JFE鋼板株式会社  
JFEプラリソース株式会社  
株式会社デイ・シイ  
東亜石油株式会社  
東京電力パワーグリッド株式会社  
株式会社浜銀総合研究所  
味の素株式会社  
JXTGエネルギー株式会社 川崎製造所  
JFEアーバンリサイクル株式会社  
JFE環境株式会社  
JFEスチール株式会社  
昭和電工株式会社  
東亜建設工業株式会社  
東京ガス株式会社  
日本通運株式会社  
富士電機株式会社

## 役員

理事長：足立 芳 寛（東京工科大学教授）  
専務理事：菅 原 久 雄（(株)ケイエスピー 前常務取締役）  
理事：阿久津義一（東京電力パワーグリッド(株) 川崎支社長）  
淡島 敬一（東亜石油(株) 常務取締役）  
岩山 眞 士（JFEスチール(株) 東日本製鉄所副所長）  
大久保千行（(株)浜銀総合研究所 代表取締役会長兼社長）  
小倉 康 嗣（環境カウンセラー）  
濱野 浩一（(株)デイ・シイ 取締役常務執行役員 管理本部長）  
藤井 文人（JXTGエネルギー(株) 常務執行役員 川崎製油所長）  
古 田 孝（東京ガス(株) 川崎支店長）  
監事：小澤 信 幸（アスカ税理士法人 代表社員 税理士）

## 設立経緯

平成13年6月、産官学で構成された「川崎臨海部再生リエゾン研究会」が発足し、2年間の研究活動を経て、「川崎臨海部再生プログラム」が取りまとめられた。現在、その実践に向けて「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」で具体的連携活動が推進されている。

この再生プログラムに携わっていた企業メンバー及び行政関係等の有志が集まり、「環境と産業の創造」をテーマとするNPO法人を企図した。臨海部が元気になる実践活動をぜひ推進したい、近

隣企業や行政とのネットワークをもっと充実させたい、一社ではあきらめていたことも連携することで実現できるのではないかと、連携と実践への期待のもと、有志メンバーが呼応した。

コンセプトは「産学公民」の連携であり、行政も参画できるNPO法人を志向した。法人名称は、「産業・環境創造リエゾンセンター」。連携をキーワードに、先進的環境技術・システム等による新たな産業創造の拠点を目指して命名された。

## LCIE

特定非営利活動法人  
産業・環境創造リエゾンセンター

〒212-0013  
川崎市幸区堀川町 66-20 川崎市産業振興会館12F  
TEL：044-522-5455 (FAX 兼用)  
e-mail：npo\_lcie@helen.ocn.ne.jp  
URL：http://www.lcie-npo.jp